

<豊かな生活には節約だけでなく副業も検討>

FPネットワーク神奈川会員 橋本 健一

最近では、毎月のように光熱費や食費などをはじめとして値上げのニュースが飛び込んできます。それに対し会社からの給料など、入ってくるお金のほうは平均すると数十年間も伸び悩んでおり、何も対策をしなければ生活は苦しくなる一方です。

そんな物価のインフレに対抗するために、私たちがどうやって行動していけばいいのか考えてみましょう。

■節約だけでは限界がある

まず考えられるのが家計を見直し、無駄だと思える費用を節約することです。しかし、どれだけ頑張っても節約に取り組んでも減らせるお金には限りがあるので、それだけではどこかで行き詰ります。

そのため固定費や変動費の削減など生活費の節約がある程度進んできた時点で、生活費を減らすだけでなく、収入を増やしていくことを考えることも大切です。

■収入を増やすのに役立つ副業

収入を増やすといっても、給与所得者は簡単に給与が増えるわけではありませんので、長く働くという視点も必要になってきます。

但し、企業の多くは定年制を採用しています。中には定年後再雇用制度を採用している企業もありますが、それでも大体は例えば「定年後5年間」や「70歳まで」といったように期限が決められています。そのため、働いてお金を稼ぎ続けようと思うとどうしても年齢が妨げになります。

総務省の「令和4年就業構造基本調査」によると、非農林業従事者のうち副業がある者は305万人で、5年前に比べ60万人増加、また、追加就業希望者（副業を希望している人）は493万人で、5年前に比べ93万人増加しているとのことですから、働きながら副業を検討する人も増えてきているようです。

NPO法人 FPネットワーク神奈川

〒220-0021 横浜市西区桜木町7-42 八洲学園横浜ビル7階

セミナー：TEL 045-620-4076 メール seminar@money.kanagawa.jp

相談：TEL 045-620-4077 メール soudan@money.kanagawa.jp

カルチャークラブ

■ローリスクで始められる副業も多い

副業に興味を持ったのはいいものの、何をしたら良いのかわからない人のために誰でも始めやすく取り組みやすい副業の例をあげるならWEBライターやブログ運営、動画配信などがあげられます。必要なのは主にパソコンだけで、特別に用意するものはそれほど多くないですし、ウェブサイトの維持費などで負担が発生したとしても大きな金額にはなりません。

また、趣味や特技を活かして隙間時間に人に教えることや、ファイナンシャルプランナーなどの資格を活かした副業は、生涯現役で働き続けられる場合もあります。

最近では自宅の敷地の一部を駐車場や駐輪場として貸し出す「シェアリングサービス」で副収入を得る方も増えているようです。副業は、本業にあまり支障が出ない範囲で、自分も楽しみながらできるものが向いているのではないのでしょうか。

■副業のメリットと注意点

副業のメリットは、収入が増えることはもちろんですが、人生100年時代、人の役に立ちながら年金以外の収入を得ることも、生きがいとなるのではないのでしょうか。

但し、公務員は法律で副業をすることは禁じられていますし、会社員も副業が認められているかどうかを就業規則で確認する必要があります。副業が認められていない場合は、まずは報酬をもらわないボランティアで経験を積んだり、人脈を築いたりすることに力を入れて、「定年後」に収入を得ることを目標とする方法もあります。

■自分の責任が求められる時代

老後のための資産形成を含め、最近では自分の生活を誰かに守ってもらうだけでなく、自助努力で変えていかなくてはいけない時代に少しずつ変わってきたと感じます。

そうした行動も年齢が重なってくると「もう遅いんじゃないか」という考えが頭をよぎるかもしれません。しかし人生はいつでも今日が一番若い日です。収入を増やせるだけでなく人生を豊かにできる可能性もある副業を検討してみたいはいかがでしょうか。

NPO法人 FPネットワーク神奈川

〒220-0021 横浜市西区桜木町7-42 八洲学園横浜ビル7階

セミナー：TEL 045-620-4076 メール seminar@money.kanagawa.jp

相談：TEL 045-620-4077 メール soudan@money.kanagawa.jp